

基幹相談支援センター（②、⑤、⑦）

令和2年3月初旬に市内事業所にて感染者が発生した際に、すぐに**市内のサービス利用者全員の支援必要度一覧（利用事業所、家族状況含む）のシート**を作成した。一人の利用者が複数のサービス事業を利用しているため、利用者や職員に感染者又は濃厚接触者が発生した場合に、他の事業所等への感染拡大の防止策は必須である。行政の協力を得て市内事業所の利用者・職員が**PCR検査を受けた時点で情報が集約できる体制**を整え、情報が入ると一覧シートにより**併用利用状況を確認し、関係事業所への連絡調整およびサービス利用調整**を行った。また、自粛要請下のサービス縮小・時短において**支援の優先度の高い人/家庭を把握し、必要なサービスが途切れないよう**に事業者、行政と調整を行った。

この支援必要度一覧作成の着想は、災害時には全体のサービス利用状況と支援の優先度の把握は必要だと考えていたところにある。今回、突然のコロナ感染症対策に直面して「これは使える」と思い、速やかに作成した。こうしたシートは**災害時でも活用できる**と思っている【関係図②⑦】。

センター内では、**職員の誰かが感染しても事業が維持できるよう2グループ体制**をとり、期限を決めて具体的対応を示すなどして職員の不安の軽減に努めた。また、**個々の職員や家族の状況を勘案**して時短などの柔軟な働き方ができるよう配慮した。**日頃から定期面談等を通じて職員のバックグラウンドや家族状況等の背景が分かっていたので、必要な配慮**ができた。また「お互い様だから休めるとき（早く帰れるとき）は休みましょう」と声をかけ、管理者も休日はしっかり休むようにした。**管理者が休まない**と職員も休みにくいと考えた。【関係図⑤】

市内の事業者に対して**コロナ感染症に伴う状況調査**を行い、利用者・職員の状況、事業経営やサービス提供状況、不都合や不安などを把握した。市として対策を検討すべき事項を明らかにするとともに、市内の**事業所向けの研修（zoom）**を実施し、市内全体の状況を報告したり、他の事業所の対応などを共有したりした。**各事業所が「自分たちだけじゃないこと」を共有**することが安心につながると考えられた。日頃から**常時連絡を取り研修などで顔を合わせる関係性**があり、それぞれの事業所の様子やどのようなことで苦勞しているのかが把握しやすかった。【関係図⑦】